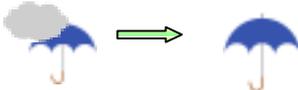
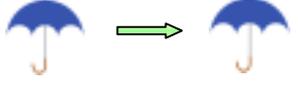
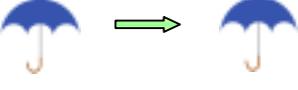
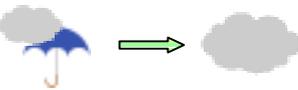
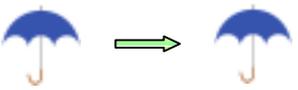
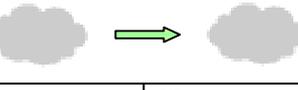
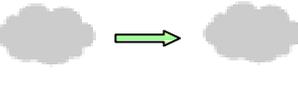
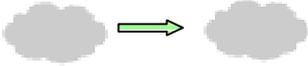


【産業動向概要】

産業全体 	<p>11年2月を中心とした県内経済は、輸出の増勢に一服感が窺われ、生産活動も持ち直しの勢いが鈍化してきている。一方、雇用・所得環境は低水準ながら改善傾向が続いているが、個人消費は弱めの動きとなっている。県内経済は、持ち直しの動きはあるものの、自律性は弱く、東日本大震災の発生で先行き警戒感が強まっている。</p>		
観光・旅館業 			<p>伊豆地区の年末年始の宿泊は概ね例年並みで推移も、東日本大震災の影響でキャンセルが大量発生、予約も入らないなど地区全体が危機的状況。計画停電、交通の混乱、観光・消費自粛ムードの影響が大きい。</p>
紙類 			<p>再生紙物トイレトペーパーの価格は下落が続く、メーカーは市況回復に取組む。段ボール原紙の需給は安定も、震災の影響で今後の動向は不透明。</p>
水産業 			<p>静岡県主要漁港の水揚量は、カツオ類、マグロ類の増加により前年実績を5割強上回った。一方魚価は、水揚量の増加に伴い一般的に価格は低下し、魚種全体の平均単価は前年同期比▲21.5%減少。</p>
一般機械（主要） 			<p>金属工作機械は輸出主導により前年比大幅なプラスが継続し、金型は8期ぶりに前年比プラスに転じる。しかし、金型は自動車生産が前年割れが続く、また、金属工作機械も震災により生産が大きく阻害される見通しで、先行きについては不透明感が強まる。</p>
木材 			<p>県内新設住宅着工はやや減少も、木造住宅着工戸数は堅調。製材品県内生産量は前年比増加が続く。ただし、震災により全国的な木材・製材品生産の減少が見込まれ、住宅着工にもマイナス影響が見込まれるなど、今後環境が悪化する懸念が出ている。</p>
缶詰 			<p>水産缶は主力のツナ缶が前年比0.2%増と横ばいに転じ減少傾向は一段落、店頭価格は夏以降横ばい。農畜産缶全体の生産量は引続き前年比増加に転じ、主力のコーン缶の需給は安定。飲料缶類も引続き生産が前年比大幅増。</p>
楽器 			<p>ピアノは内需減により本年1月～2月の生産台数（KDを除く）は、縦型（アップライト）が伸びず減少。電気・電子ピアノは内需が貢献、電子キーボードは輸出に支えられ販売台数は前年同期を上回る。電子オルガンは販売台数大幅減。</p>
	家庭紙 	板紙 	
	金属工作機械 	金型 	
	水産缶詰 	農畜産缶 	
	飲料缶類 		
	ピアノ 	電子楽器類 	

輸 送 用 機 器 			遠州地域の二輪車生産台数は前年を下回ったものの、自動車部品生産金額（県内）は、輸出の好調さから前年比プラスが続いている。しかし、震災による自動車メーカーの操業度合や電力供給の不足によって県内部品メーカーに大きな影響が出る可能性がある。
	二輪車 	自動車 部品 	

 明 る い	 やや明るい	 停 滯	 やや不振	 不 振
--	--	---	---	--

《産業別天気マークの推移》

 明るい
  やや明るい
  停滞
  やや不振
  不振

調査対象時期 (公表時期)	09/1 (09/3)	09/4 (09/6)	09/7 (09/9)	09/10 (09/12)	10/1 (10/3)	10/4 (10/6)	10/7 (10/9)	10/10 (10/12)	11/1 (11/3)	
概況 		→					→			
観光・旅館業 		→		→		→				
紙類 		→		→						
水産 		→								
一般機械(主要) 			→			→				
木材 		→								
缶詰 		→							→	
楽器 		→		→		→		→		
輸送用機器 		→					→		→	